
蝉は鳴く

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蝉は鳴く

【Nコード】

N0593B

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

どこにでもある夏の日のどこにでもある午後の出来事。

PM0:25 いつだったかどこだったかで買った古着のシャツを
2枚重ねて羽織り、
メーカーも分からない裾が窄まってるブラックデニムをはいて家を出る。

靴はアディダスのなんかペタつとした赤い奴。

暑い。

どう考えてもシャツを2枚羽織ったのは間違いだった。

こんな晴れた暑い日にブラックデニムを選ぶのもどうかしてる。

ベルトをジャラジャラつけてるせいで、

それが太ももにペシペシあたって実に不愉快だ。

蝉が鳴いている。

ああもううるさい。

いらいらする。

腹が減ってるせいだ。

きつと。

コンビニに着く。

訳の分からない格好をした

わけの分からない若者であふれかえっている。

お昼時だからだ。

ああ、本当にもう、

全員並べて縛ってベネッセビルの屋上から放り投げたい。

糞だ糞だ。

もう糞ばっかりだ。

なんなんだこの世界は。

うざい馬鹿ばっかりだ。

いらいらする。

なんでおばさんおにぎり一個しか入ってないかごもって

通路の真ん中に突っ立ってんだ。

弾き飛ばされたいのかババア。

マジ邪魔だ。

食パンとジャムを手に取り、レジに向かう。

俺の目の前には家族連れが並んでる。

買い物籠にすっぽり入った赤ちゃんが

「ヴぁぁぁ」といって女の店員さんに品物を一個ずつ差し出す。

その様を見て家族連れみんなの顔がほころんでる。

店員さんも微笑む。

俺も何故か微笑む。

あきらかに俺が笑顔なのは不自然だし、

恥ずかしいからこらえたかったけれど、

こらえきれず笑顔になってしまう。

子供は素敵だ。

彼らは笑顔をつれてくる。

何の理由も根拠もない世界から、

何の論拠も後ろ盾もない笑顔をつれてくる。

そしてそういう笑顔は

俺のむっつり顔だって一瞬にしてぶっさいくな笑顔にしてしまう。

やつらはすげえわ。

素直にそう思った。

彼らは一体どの地点で

その「根拠もない、理不尽なまでの素直な笑顔」を失うのだろう。

なぜ失わなければならないのだろう。

きつとぼくらが彼らに「つまらないこと」を教えてしまうからだ。
かれらはそれを学習し、

やがて笑うことに理由と根拠を求めるようになる。

彼らの笑顔は世界を揺るがすほどの絶対性を失う。

糞だ糞だ。

もう糞ばかりだ。

なんなんだこの世界は。

うざい馬鹿ばかりだ。

いらいらする。

蝉が鳴いている。

ああもううるさい。

いらいらする。

腹が減ってるせいだ。

きつと。

ああ、本当にもう、

全員並べて縛ってベネッセビルの屋上から放り投げたい。

糞だ糞だ。

もう糞ばかりだ。

蝉が鳴いている。

そうだ、蝉が鳴いている。

今日もどこかで無垢な笑顔は失われる。

糞な奴らが汚しちまう。

糞な俺が汚しちまう。

本当は分かってるんだよ。

俺達が間違ってる。

おいボウズ。

俺が今から超いい事言うから鼻の穴かっぼじってよく聞け。

お前の笑顔がこの世で一番正しい。

つまり言いたいのはこういうことだ。

子育てって大変ね。

うはっ
w
w
w
w
つ
を
k
w
w
w
w
w
w
w
w
w
w
w
w
w

追記

なあお袋、これみてるか？
なんてね。

見てないの知っててあえて書くけど、
なんだかんだいってあんたを尊敬してる。
あんたの子供でよかったと思うよ。
いや、ジョーダンじゃなくてさ。

だから今度帰る時、ちゃんと寿司用意しとくように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0593b/>

蝉は鳴く

2010年11月14日03時03分発行